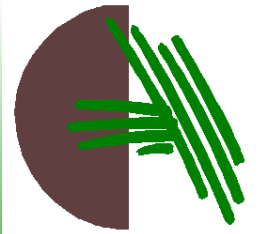


# フランスの農業

## Chiffres clés



**CHAMBRES  
D'AGRICULTURE  
ASSEMBLÉE  
PERMANENTE**

### 人間 - 農業人口：フランスの雇用の3.1%

農業はフランス経済において、雇用の面で依然として非常に重要なセクターです。2007年には、農業は80万 5000のフルタイム雇用に相当する雇用を供給しており、「農業、狩猟、林業」部門全体ではフランスの労働人口の3.1%を占めています。さらに、農業は川下の農産物加工産業における雇用を生み出します。実際、2007年には、農産物加工産業は自動車産業の2倍以上である64万人の労働力人口を雇用しました。農業と農産物加工産業（IAA）を合わせると、フランスの雇用全体の6%を占めています。全体的に見ると、フランスも他の先進国と同様にサービス業が大きく成長しましたが、農業は雇用において大きな割合を占め続けています（農業はフランスの雇用の23%、公的機関を除くサービス業では37%）。

加盟国27カ国のEUでは、農業（IAAは除く）が雇用全体に占める割合は5.5%で、英国の1.3%に対してルーマニアは29.5%と大きな開きが見られます。ユーロバロメーターの調査によると、89%のヨーロッパ人が農業および農村地帯は大陸の将来にとって重要であると考えています。

2007年の農業における雇用  
(単位：1000 UTA (年間労働単位))

フランス	805
加盟国27カ国のEU	11,746
ポーランド	2263
ルーマニア	2205
イタリア	1302
スペイン	968
ドイツ	609

2007年のフランスの労働力人口  
(単位：百万人)

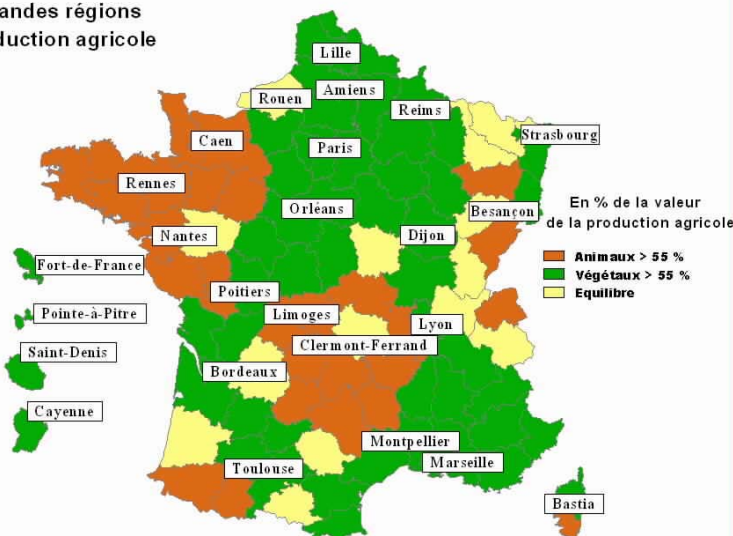
全労働力人口	28
農業、狩猟、林業	0.86
産業	5.95
サービス業（公的機関は除く）	9.53

(出所：ユーロスタット)

### 土地 - 欧州連合の農業用地の16%

フランスは、国土全体の半分よりやや少ない、3000万ヘクタール近い広大な耕作可能地を有しています。北緯45度線の両側に位置するこれらの耕作可能地では、非常に多様な作物の生産が可能です。

Les grandes régions de production agricole



Source : SSP / Les comptes de l'Agriculture

2007年の農地面積  
(単位：千ヘクタール)

SAU* フランス	27 477
SAU* スペイン	24 893
SAU* ドイツ	16 932
SAU* 英国	16 130
SAU* 加盟国25カ国のEU	155 681
SAU* 加盟国27カ国のEU	172 485
フランス本土の総面積	63 283
加盟国25カ国のEUの総面積	405 396
加盟国27カ国のEUの総面積	440 336

\*SAU = 使用されている農業用地

2007年の農地の平均面積  
(単位：ヘクタール)

フランス	52.1
加盟国25カ国のEU	16.8
加盟国27カ国のEU	12.6
チェコ共和国	89.3
デンマーク	59.7
英国	53.8

(出所：ユーロスタット)

## 経営体 -主に家族経営の500 000以上の小規模経営体

フランスの経済活動が少数の大企業に集中している一方で、農業は現在でも家族経営を主体とした小規模の経営体によって営まれています。フランスの農業経営体の大半では、事業主は賃金労働者や家族の一時的な援助を得ながら独りで働いています。

中小企業 ( PME ) はヨーロッパおよびフランス社会における雇用源であり、農業はこの経済組織において最も重要な役割を果たしています。

2007年の農業経営体数 (単位：千)

フランス	527
加盟国25カ国のEU	9 276
加盟国27カ国のEU	13 700
ルーマニア	3 931
ポーランド	2 391
イタリア	1 679

(出所：ユーロスタット)

## 生産 -欧州連合最大の農業生産国

2007年、EUは3310億ユーロの農産物 ( 非加工 ) を生産しました。フランスは620億ユーロを生産しており、この総量の20%に貢献しました。農産物によって順位は変わるものの、フランスは総合的にヨーロッパ最大の農業生産国です。EUのその他の主要生産国はイタリア ( ヨーロッパの生産高の12% )、スペインおよびドイツ ( ヨーロッパの生産高の12%および13% ) です。

2007年の加盟国27カ国のEUの農業生産におけるフランスの割合および順位

小麦およびスペルト小麦	30%	1位
トウモロコシ (粒)	29%	1位
油糧作物 (種子を含む)	29%	1位
果物	13%	3位
生鮮野菜	11%	3位
ワイン	52%	1位
牛肉	27%	1位
豚肉	10%	3位
家禽肉	19%	1位
牛乳	15%	2位

(出所：農業統計 - ユーロスタット)

## 貿易 -農産物加工品はフランスにとって確実な価値

フランスは1960年には輸出していた農産物加工品の2倍の農産物加工品を輸入していました。しかし、1970年代末以降のフランスの農業の近代化はこの状況を素早く変え、フランス農業の貿易収支は黒字になりました。2008年には、農産物加工品の貿易収支の黒字は93億ユーロに達しました。農産物加工品の輸出はフランスにとって重要な切り札です。農産物加工品の黒字はフランス経済で最も大きな黒字のひとつです。

フランスの2008年の貿易収支 (単位：10億ユーロ)

農産物加工品	9,3
エネルギー製品	-58,1
製造品	-18,9
合計 ( FOB/FOB* )	-55,7

(出典：税関、フランス国立統計経済研究所 ( INSEE ) )

\* Free On Board : 本船甲板渡し条件

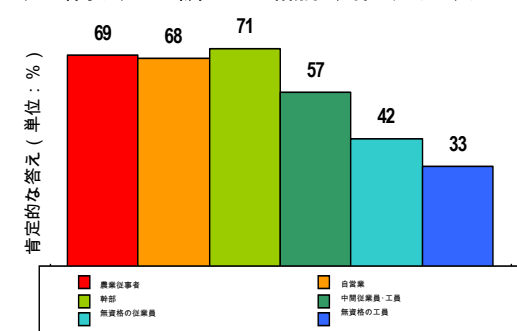
## 見解 -農業従事者は客観的に自らの職業を高く評価

フランス人に客観的に自分自身を最もよく定義するものは何かについて、皆家庭での立場を挙げますが、職業活動についてはフランス人の意見は分かれます。

自らの職業活動の経営における自主権を有している人 ( 農業従事者、独立管理職 ) は、決定権がない、あるいはほとんどないフランス人 ( 工員、従業員 ) よりも客観的に自らの職業をより高く評価しています。

農業従事者は自らの職業を最も高く評価する者に属し、そのうちの69%が自分が何者かを語るために自らの職業について話します。

あなた自身はあなたの職業によって客観的に定義づけられますか？



フランス農業会議所 - APCA ( 農業会議所常設会議 ) - 経済研究 出所：SSP